

## 令和4年度 12月倉敷市地球温暖化対策審議会 議事録（要旨）

### 1 日時

・令和4年12月23日（金） 14時00分～15時30分

### 2 場所

・倉敷市本庁舎10階 大会議室

### 3 出席者

#### 【委員】13名

阿部委員、石井委員、井手委員<sup>※1</sup>、岡崎委員<sup>※1※2</sup>、黒住委員<sup>※1</sup>、後藤委員、中井委員、中田委員、新納委員<sup>※1</sup>、林委員、服藤委員、三宅委員、山田委員<sup>※2</sup>

※1：臨時委員

※2：オンライン参加

#### 【事務局】7名

環境リサイクル局	佐藤局長
環境政策部	岡本部長、智片次長
環境政策課	森宗課長、瀧本課長代理
地球温暖化対策室	塩津室長、青葉主事

#### 【委託業者】3名

### 4 欠席者

#### 【委員】4名

浅尾委員、市川委員<sup>※1</sup>、加治委員、塩田委員、山本委員<sup>※1</sup>

### 5 傍聴者 2名

### 6 次第

1 開会・あいさつ

2 議事

(1) クール暮らしきアクションプラン（素案）について

3 その他

4 閉会

### 7 配付資料

令和4年度12月倉敷市地球温暖化対策審議会レジュメ  
倉敷市地球温暖化対策審議会委員名簿

出席者一覧

会場図

クールくらしきアクションプラン（素案）本編（一部当日配布）

クールくらしきアクションプラン（素案）資料編（当日配布）

別添1 素案に関する追加資料（当日配布）

別添2 今後のスケジュールについて（当日配布）

## 8 議事要旨

事務局	(クールくらしきアクションプラン(素案)」をもとに、第1章から5章について説明)
会長	全体的に「こうなっています」という表記が多く、具体的な内容が欠けているように思う。例えば、自動車保有台数について、乗用車や軽乗用車の増加要因の説明が必要ではないか。
事務局	表現が不足している部分もあったと思うので、具体的な内容について確認し、分かりやすい表現を検討していきたいと思う。
会長	倉敷市は高梁川流域連携中枢都市圏である一方、岡山連携中枢都市圏とも関係があると思うが、今後の具体的な方針等について記載していくのか。
事務局	今年度、岡山連携中枢都市圏のゼロカーボン研究会にも参加しており、来年度には、岡山連携中枢都市圏と共同した取組についてもできることから進めていく予定であり、具体的に記載できるよう検討する。
委員	高梁川流域カーボンニュートラル研究会において、各市町の排出量の算定をしたとの説明があったが、地方公共団体実行計画(区域施策編)を策定していない市町についてはどのように算定したのか。
事務局	地方公共団体実行計画(区域施策編)を策定している自治体については、計画の数値を使用しており、それ以外の自治体については、国のマニュアルを参考に独自に算定している。
委員	高梁川流域カーボンニュートラル研究会において、倉敷市がリーダーとなって連携した取組を行っていく計画はあるのか。
事務局	流域での連携事業として、今年度は小学校の1教室を断熱改修するワークショップを開催する。来年度については、民生家庭部門の排出量削減に向けた取組として、小学生を対象とした親子向けのワークショップの開催を予定している。他については未定であるが、各市町からもテーマを募りながら、どのような取組を行っていくか検討していきたいと考えている。
委員	大規模事業者とは具体的にどのような事業者なのか。

事務局	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて、一定以上の温室効果ガスを排出し、国に報告することが義務付けられている特定排出者を対象としている。
委員	市内ではどんな事業者があるのか。
事務局	具体的には中国電力や JFE スチール、ENEOS 等の事業者であり、ホームページ等で削減目標を公表している事業者としては 30 社が該当する。
会長	排出量はそれぞれの部門の活動量に排出係数を乗じる方法で推計しているという認識で良いか。
事務局	大規模事業者の排出量は、各事業者が国に報告している数値を使用している。それ以外の中小事業者については、統計データから按分して補完している。
事務局	(「クール暮らしきアクションプラン (素案)」をもとに、第 6 章、7 章、資料編、スケジュールについて説明)
委員	基本理念について、ゼロカーボンという言葉が多く出てくるが、市役所の中ではゼロカーボンという言葉を使うのが一般的となっているのか。
事務局	昨年にゼロカーボンシティへのチャレンジを宣言してから、各担当課でも取組を進めており、ゼロカーボンという言葉は徐々に広まってきていると感じている。
委員	一般的に使われているのであれば、案 1 の「脱炭素技術とゼロカーボンライフスタイルで持続可能な未来を創る」が良いと思う。また、G-KEA の見直しは検討しているのか。
事務局	G-KEA については来年度に見直しを予定しており、高梁川流域の各市町と共同で作成することも検討している。
委員	作成してから年数が経過しているため、今の時代の流れと合致しない部分もあると思うのでぜひ見直しをお願いしたい。

委員	<p>地球温暖化対策は、2030年や2050年という時間軸が長いものであり、将来的に計画を推進していくことになる若い世代に対しての伝え方について考えがあれば教えて欲しい。</p> <p>また、取組を進めていかなければいけないことは理解できるが、内容が多岐にわたるため、重点項目を設定するなど、市民に対して分かりやすく伝える方法についても検討していただきたい。</p>
事務局	<p>幅広い世代に対して普及啓発を進めていく必要があり、その取組の1つとして小学生向けの学習素材を作成した。民生家庭部門での66%削減という高い目標の達成に向けて、幅広い世代に取組を進めてもらえるよう、重点項目の設定など表現を検討していきたい。</p>
委員	<p>「まちを『クール』に」の取組方針として、「徒歩や自転車、公共交通機関による移動を主とする脱炭素型の交通体系をつくる」とあるが、どのような取組を進めていくのかが分かれば協力しやすくなると思うので、具体的に記載してもらいたい。</p>
会長	<p>岡山市では岡山駅を中心として公共交通網が整備されているが、倉敷市ではあまり整備されていない。具体的な対応はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>地域交通網形成計画をもとに取組を進めており、具体的な内容については、担当課である交通政策課と調整する。</p>
会長	<p>取組方針について、一般的な表現になっているが、「つながりを『ホット』に」や「気候変動への『そなえ』を」において、倉敷市としてどこに力を入れていくのかが分かるように具体的に表現できないか。</p>
事務局	<p>具体的に記載できるよう表現方法を検討する。</p>
委員	<p>船穂地区ではスイートピーやシャインマスカットの温室がたくさんあり、CO<sub>2</sub>もたくさん排出されているのではないかと思う。農林水産省では、温室に関するCO<sub>2</sub>削減に向けた取組が進められていると聞いたが、倉敷市での取組は進んでいるのか。</p>
事務局	<p>具体的な取組は進められていないのが現状であるが、農業分野の温室効果ガスの削減に向けて、担当課と協議し、できるところから進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>ぜひ農家と行政が連携して良い取組ができればいいと思う。</p>

事務局	<p>基本理念について、前回の審議会等での意見を踏まえて4案提示しているので、ご審議いただいたうえで決定したい。</p> <p>先程、市役所でゼロカーボンという言葉を使うことが一般的であれば改定案1が良いのではないかと意見があったので、事務局としては改定案1を考えているが、いかがか。</p>
各委員	<p>了承。</p>
会長	<p>追加で意見があれば、1/10（火）までに事務局に連絡をお願いしたい。今後の修正については、会長と事務局との調整で進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事録承認

会 長

阿部 宏史



署名委員

林 伸洋

